

- は「トヨシロ」より短く「スノーデン」並の中である。
4. 上いも平均一個重は「トヨシロ」より軽く、「スノーデン」並の中である。規格内いも収量は「トヨシロ」、「スノーデン」よりやや重い。でん粉価は「トヨシロ」、「スノーデン」より低い。
5. ポテトチップ加工適性は、貯蔵後の翌年の5～6月に、特に他品種より高品質なポテトチップの生産が可能で、実需評価も高い。
6. 塊茎の生理障害は、褐色心腐の発生が「スノーデン」よりやや高い微であり、中心空洞および二次生長の発生が、それぞれ「スノーデン」並の微、極微である。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性

を持つほか、そうか病抵抗性が中である。疫病およびYモザイク病に対する抵抗性は弱、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は「スノーデン」より弱く「トヨシロ」並のやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、でん粉価の向上を図るため、多肥を避け、早植え、浴光催芽などの基本技術を励行し、完熟塊茎の生産に努める。中心空洞の発生を防ぐため、疎植を避ける。疫病菌による塊茎腐敗抵抗性がやや弱であるので、疫病防除を適切に行う。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北見農試	リラチップ	6.6	9.16	74	10.7	102	4,854	100	4,343	102	14.2	2008～2012
	トヨシロ	6.6	9.6	75	9.1	122	4,859	100	4,256	100	15.6	
	スノーデン	6.5	10.5	93	10.0	104	4,581	94	4,196	99	14.9	
	きたひめ	6.4	9.18	79	8.7	118	4,400	91	4,057	95	15.3	
中央農試	リラチップ	5.25	8.28	54	12.4	107	5,835	113	5,200	117	13.2	2011, 2012
	トヨシロ	5.26	8.30	55	11.2	106	5,183	100	4,461	100	17.1	
	スノーデン	5.25	9.5	69	15.1	78	5,019	97	3,826	86	14.2	
上川農試	リラチップ	6.1	9.14	58	12.4	103	5,186	102	4,585	105	14.0	2009～2012
	トヨシロ	5.31	9.4	61	11.1	107	5,103	100	4,363	100	15.5	
	スノーデン	5.30	9.23	73	14.0	90	5,554	109	4,669	107	14.7	
十勝農試	リラチップ	6.1	9.8	67	10.4	104	4,819	108	4,398	111	13.7	2009～2012
	トヨシロ	5.31	9.4	70	10.1	99	4,445	100	3,975	100	16.0	
	スノーデン	5.31	9.15	87	10.8	80	4,059	91	3,228	81	14.2	
北農研	リラチップ	6.7	9.10	56	8.7	108	4,125	94	3,815	101	14.6	2009～2012
	トヨシロ	6.3	9.5	52	10.9	91	4,373	100	3,785	100	17.3	
	スノーデン	6.4	9.14	60	10.0	96	4,192	96	3,713	98	14.9	

注1) 規格内いも収量は60～339gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成25年普及奨励ならびに指導参考事項, 4-7 (2013)

7. そば

(1) キタノマシュウ (系統名 北海6号) 2006年

登録番号: (北海道) そば北海第3号

(農水省) そば農林4号

(種苗法) 第13298号

セールスポイント

有限伸育性で「キタワセソバ」より草丈が低く、耐倒伏性にやや優る。甘みがあり良食味である。

来歴 本品種は、北海道農業試験場(現北海道農業研究センター)において、耐倒伏性・短茎・多収そば品種の育成を目標として、1995年に「キタワセソバ」集団より発見・選抜した伸育性が有限の変異個体に由来する系統である。1997年に「キタワセD」の系統名で生産力検定予備試験に供試し、2002年より「北海6号」として各種試験に供試し、2006年に優良品種となった。

特性概要

1. 草型は直立・短枝型，葉の大きさは小，花色は白で，いずれも「キタワセソバ」と同じである。分枝数は「キタワセソバ」より多いやや少である。花房数は「キタワセソバ」と同程度の少である。草丈及び主茎長は「キタワセソバ」よりやや短いかかなり短である。なお，形態に関して特筆すべき点は，伸育性が有限である。
2. 生態型は北海道に適する夏型であり，開花期は「キタワセソバ」とほぼ同程度の早，成熟期は「キタワセソバ」と同程度のかかなり早。子実収量は「キタワセソバ」と同程度の中である。耐倒伏性が「キタワセソバ」よりやや強いやや強である。
3. 千粒重は「キタワセソバ」と同程度の重であり，容積重は「キタワセソバ」に比し重いかかなり重である。

製粉歩留りは「キタワセソバ」と同程度の中である。食味は「キタワセソバ」とほぼ同程度の中である。実需による製粉・製麺試験結果では，丸抜きの製粉歩留りが「キタワセソバ」と比較して高く，製麺時（操作性）が「良い～粘る」，製麺時（香り）「ふっつ～やや強い」であり，食味試験では「甘味があり，良食味である」との評価を得た。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。栽培上の注意は，1.他品種と交雑するので，集团的に隔離栽培する，2.多肥もしくは晩播により倒伏しやすくなるので，適正施肥及び適期播種に努める，3.「キタワセソバ」並に脱粒するので，適期収穫に努める，である。

試験場名	品 種 名	播種期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	草 丈 (cm)	分枝数 (株)	倒 伏 程 度	子実重 (kg/10a)	同左比 (%)	千粒重 (g)	容積重 (g/l)	製 粉 歩 留 (%)	検 査 等 級	試 験 年 次
北農研 センター (芽室)	キタノマシュウ	6.3	7.8	8.22	111	3.0	0.4	180	99	29.7	632	55.3	2～3	2002～ 2005
	キタワセソバ	6.3	7.8	8.21	112	2.3	1.1	182	100	29.3	601	55.5	2～3	
	キタユキ	6.3	7.9	8.30	125	2.7	1.0	147	81	27.7	643	55.6	3～外	
中央農試	キタノマシュウ	6.5	7.11	8.21	126	3.8	0.2	200	106	28.7	578	53.1	3	2002～ 2005
	キタワセソバ	6.5	7.10	8.20	133	3.4	1.0	188	100	28.3	536	52.1	2～3	
上川農試	キタノマシュウ	6.3	7.7	8.16	116	3.4	0.5	233	100	28.1	554	52.9	3～外	2002～ 2005
	キタワセソバ	6.3	7.7	8.16	123	3.1	0.6	233	100	28.2	539	54.6	3～外	
十勝農試	キタノマシュウ	6.3	7.9	8.17	115	2.7	0.3	132	100	30.6	582	52.7	1～3	2002～ 2005
	キタワセソバ	6.3	7.9	8.17	115	1.8	0.3	132	100	29.5	538	52.9	1～3	
北見農試	キタノマシュウ	6.3	7.17	8.18	101	3.0	0.5	200	97	30.5	591	56.3	3～外	2002～ 2005
	キタワセソバ	6.3	7.13	8.18	103	2.4	1.1	206	100	30.0	584	56.0	3～外	

- 参照 1) 北海道農政部編，平成18年普及奨励ならびに指導参考事項，42-44 (2006)。
2) 本田裕 等，北海道農業研究センター研究報告，191，1-22 (2009)。

(2) レラノカオリ (系統名 北海11号) 2012年

登録番号：(北海道) そば北海道第4号
(農水省) そば農林7号
(種苗法) 第19525号

に由来する。「端野・緋牛内」は1986年，北海道農業試験場(遠軽)が端野町緋牛内で収集した遺伝資源である。2001年から選抜を開始し，2007年から「北海11号」として各種試験に供試し，2012年に優良品種となった。

セールスポイント

「キタワセソバ」よりも千粒重がやや重く，大粒であることから夾雑物の除去などの調製作業性に優れ，且つ実需者ラインでの製粉特性にも優れ，食味は「キタワセソバ」並である。収量は「キタワセソバ」並からやや多収である。

来歴 本品種は，北海道農業研究センター(芽室)において，早熟・多収・粒大・高品質ソバ品種の育成を目標にして，早熟多収と認められた遺伝資源「端野・緋牛内」

特性概要

1. 伸育型は無限，草型は直立・短枝型。「キタワセソバ」と比較して，草丈および主茎長は短いやや短，主茎節数は少ないやや少である。葉の大きさは中，花色は白，分枝数は中，花房数は少，いずれも「キタワセソバ」と同じである。
2. 生態型は北海道に適する夏型であり，開花期は「キタワセソバ」と同程度の中，成熟期は「キタワセソバ」より早い，やや早である。脱粒の難易は同程度の中，子実の収量は「キタワセソバ」並からやや多である。

耐倒伏性は「キタワセソバ」と同程度の中である。

3. 容積重は「キタワセソバ」に比しやや小、千粒重は「キタワセソバ」よりやや大であり、粒の幅は同程度の中であるが、粒の幅がやや広の大粒である。製粉歩留りは「キタワセソバ」より優れる。製麺性および食味は「キタワセソバ」とほぼ同程度の中である。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。栽培上の注意は、1.早刈りすると容積重が小さくなるため適期収穫に努める、2.他品種と交雑するので、採種圃場は集团的に隔離栽培する、である。

試験場名	品 種 名	播種期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	草 丈 (cm)	分枝数 (株)	倒 伏 程 度	子実重 (kg/10a)	同左比 (%)	千粒重 (g)	容積重 (g/l)	製 粉 歩 留 (%)	検 査 等 級	試 験 年 次
北農研センター (芽室)	レラノカオリ	6.2	7.8	8.15	105	2.0	1.1	187	100	30.7	564	67.2	外	2009～ 2011
	キタワセソバ	6.2	7.8	8.17	112	2.0	1.3	187	100	29.5	594	66.8	外	
中央農試	レラノカオリ	6.3	7.8	8.15	126	2.4	1.4	152	102	32.6	589	71.7	2	2009～ 2011
	キタワセソバ	6.3	7.8	8.17	131	3.0	1.7	149	100	31.4	616	71.9	2	

参照 1) 北海道農政部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 26-28 (2012)。

2) 森下敏和 等, 北海道農業研究センター研究報告, 199, 1-12 (2013)。

8. だったんそば

- (1) 北海T8号 2007年

登録番号：(北海道) だったんそば北海道第1号
(農水省) だったんそば農林1号
(種苗法) 第14403号

セールスポイント

「道南産」(道内で栽培された在来種)と比較して、倒伏においてやや優り、やや多収である。また、普通そば品種「キタワセソバ」より、子実中にルチンを数十倍の量を含む。

来歴 本品種は、1978年に旧ソ連の全ソ植物生産研究所から導入しただったんそば遺伝資源「Rotundatum」について、北海道農業試験場(現北海道農業研究センター)が寒地に適しただったんそば品種の育成を目的として、1991年から純系選抜により育成したものである。2004年から「北海T8号」の系統名で各種試験を行い、2007年に優良品種に認定された。なお、2006年7月には「北海T8号」の名称で品種登録された。

特性概要

1. 草型は直立・短枝型で、草丈および主茎長は「道南産」より低い中であり、主茎節数や分枝数はやや少である。

2. 茎の太さはやや細で、茎色は「道南産」が淡緑であるのに対して濃紅である。花色は緑黄で、普通そばの「キタワセソバ」の白と異なる。

3. 開花期が「道南産」と同じ中であり、成熟期もほぼ同じ中である。「道南産」に比べてやや多収であり、耐倒伏性にやや優る。

4. 粒型は平滑型であり、千粒重は中であり、「道南産」よりやや重い。ただし、普通そばの「キタワセソバ」に比べると軽い。粒の長さとは幅は、「道南産」に比べて長さがやや短で幅がやや広であるため、粒の長幅比は小である。

5. 製粉歩留は「道南産」と同程度の中、食味及び苦味も同程度の中である。

6. ルチン含量が「道南産」並に極めて高い。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。栽培上の注意は次の通りである。(1) 普通そばとは交雑しないが、後作を普通そばとした場合、野良生えにより種子が混入するので、後作物の選定に留意する。(2) 多肥により倒伏し、減収するので、適正施肥量に努める。(3) 密植による顕著な増収効果がないので、適正播種量に努める。(4) 「キタワセソバ」より脱粒しやすいので、適期収穫に努める。

試験場名	品 種 名	播種期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	草 丈 (cm)	第1次 分枝数 (本/株)	倒 伏 程 度	脱 粒 (kg/10a)	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	製 粉 歩 留 (%)	ルチン (mg/100g)	試 験 年 次
北農研 センター	北海T8号	6/5	7/19	8/26	170	3.8	4.1	12.5	180	137	651	18.4	54.2	933	2004~ 2006
	道南産(標準・対照)	6/5	7/22	8/26	174	5.7	4.8	8.5	131	100	665	17.3	54.5	1114	
	キタワセソバ(参考)	6/4	7/8	8/21	116	2.3	1.9	6.6	173	132	592	28.1	55.9	18	
	北海T8号	5/19	7/8	8/11	152	3.6	4.2	7.8	259	116	663	18.0	56.6	948	
	道南産	5/19	7/9	8/12	158	4.1	4.6	5.7	224	100	670	16.9	55.8	1093	
中央農試	北海T8号	6/4	7/16	8/28	150	4.3	1.4	—	217	94	596	16.3	51.0	—	2004~ 2006
	道南産	6/4	7/20	8/30	155	5.4	3.1	—	231	100	611	15.7	49.7	—	
	キタワセソバ	6/4	7/10	8/18	131	3.0	0.7	—	216	94	719	28.5	52.1	—	
上川農試	北海T8号	6/4	7/14	8/27	138	2.6	1.3	—	262	115	559	16.4	51.8	—	2004~ 2006
	道南産	6/4	7/14	8/28	149	3.1	1.9	—	227	100	586	16.8	51.1	—	
	キタワセソバ	6/4	7/9	8/18	124	2.0	1.0	—	199	88	532	28.3	54.4	—	

注) 倒伏程度 (無: 0 ~ 甚: 5)

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 42-44 (2007)。
2) 本田 裕 等, 北海道農研研報, 192, 1-13 (2010)。